

## 株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年度第3四半期(2012年4月～12月)のブラザーグループの連結業績を中心にご報告申し上げます。

売上高は、円高による為替のマイナス影響を受けたものの、主に通信・プリンティング機器や通信カラオケ機器が堅調な需要に支えられ増収となり、前年同期比で増収の3,773億円となりました。利益面は、為替のマイナス影響や工業用ミシンの減収の影響などにより、営業利益は257億円、経常利益は222億円、当四半期純利益は122億円と、前年同期比で減益となりました。

今後とも、さらなる成長に向けブラザーグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆さまにおかれましても何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



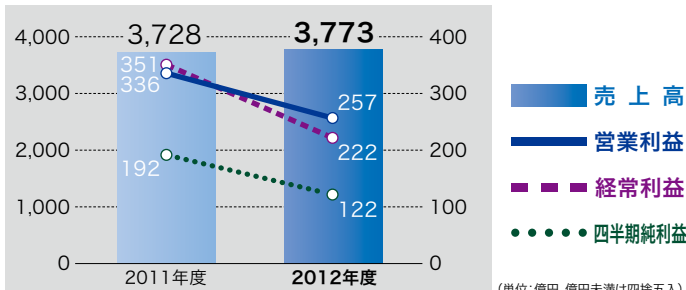
よりよい地球環境を、  
あなたとともに。  
www.brotherearth.com

代表取締役社長

小池利和



## 2012年度 第3四半期(累計)の業績概況



※2012年度第3四半期(累計)の平均為替レート:1米ドル=80円、1ユーロ=103円  
2011年度第3四半期(累計)の平均為替レート:1米ドル=79円、1ユーロ=111円

### 売上高

円高のマイナス影響があったものの、通信・プリンティング機器や通信カラオケが堅調な需要に支えられ増収となり、全体では増収

### 利益

為替のマイナス影響や工業用マシンにおける減収の影響などにより減益

## 2012年度 通期の業績予想について

### 売上高

景気の影響を受け主に産業機器の売上見込みを引き下げたものの、為替の想定レート変更によるプラス影響もあり前回予想から変更なし

### 利益

為替の想定レート変更によるプラス影響があるものの、マシナリー・アンド・ソリューション事業の減収による影響などにより前回予想を下回る見通し

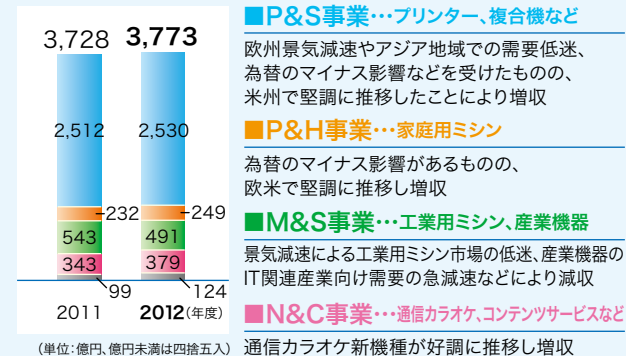
予想部分の為替レート | 1米ドル=83円、1ユーロ=115円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年度予想 '13 2/5発表	5,100 (+2.5%)	280 (△18.1%)	235 (△31.6%)	180 (△7.8%)
2012年度予想 '12 11/1発表	5,100	300	300	200
2011年度実績	4,974	342	344	195

(単位:億円、億円未満は四捨五入)

この株主通信に記載されている事項には、将来についての予想に関する記述が含まれています。実際の業

## 売上高 事業セグメント別



(単位:億円、億円未満は四捨五入)

### ■P&S事業…プリンター、複合機など

欧州景気減速やアジア地域での需要低迷、為替のマイナス影響などを受けたものの、米州で堅調に推移したことにより増収

### ■P&H事業…家庭用マシン

為替のマイナス影響があるものの、欧米で堅調に推移し増収

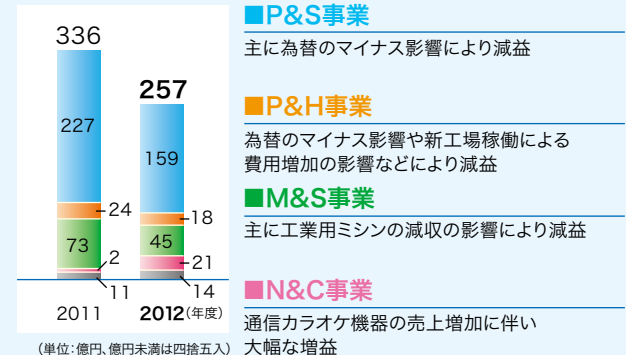
### ■M&S事業…工業用マシン、産業機器

景気減速による工業用マシン市場の低迷、産業機器のIT関連産業向け需要の急減速などにより減収

### ■N&C事業…通信カラオケ、コンテンツサービスなど

通信カラオケ新機種が好調に推移し増収

## 営業利益 事業セグメント別



(単位:億円、億円未満は四捨五入)

### ■P&S事業

主に為替のマイナス影響により減益

### ■P&H事業

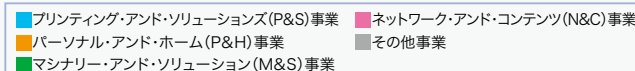
為替のマイナス影響や新工場稼働による費用増加の影響などにより減益

### ■M&S事業

主に工業用ミシンの減収の影響により減益

### ■N&C事業

通信カラオケ機器の売上増加に伴い大幅な増益



績はこれらの見通しと異なる結果がありうることをご承知おきください。

## 株主通信 第121期 第3四半期のお知らせ

※本通信は2012年9月末時点での株主の皆さまにお送りしておりますことをご了承ください。

## ブラザー工業株式会社

(証券コード:6448)

【株主名簿管理人】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
電話/0120-232-711 (通話料無料)

①開く

ここからゆっくりはがしてご覧ください。  
万一ぬれた場合は十分に乾かしてからはがしてください。

## 中期戦略達成を目指し 株式会社ニッセイとの提携を強化

ブラザーグループは、中期戦略「CS B2015」に基づき、新規事業を含む全ての事業において成長を目指しています。この成長戦略の一環として、株式会社ニッセイとの提携関係をより強化するため、2012年12月～2013年1月にニッセイ株式の公開買付けを実施しました。これにより、従来23.54%であった株式所有割合が60.22%となり、ニッセイは連結子会社となりました。ニッセイは、減速機や歯車を製造・販売しており、優れた技術と短納期を強みに、国内において高いマーケットシェアを維持しています。今回の提携により、ブラザーが持つグローバルネットワークを通じて海外ビジネスにおいても拡大を図り、さらなる成長を目指します。

また、ブラザーグループとしては、収益性の高い工業用部品の事業が加わることで、事業ポートフォリオが広がります。さらに、ブラザーが持つメカ・ハード・ソフトの技術に、ニッセイの高精度な部品加工技術を組み合わせ、新規事業創出のさらなるスピードアップを図ります。

### 株式会社ニッセイ Nissei

- 本社所在地 / 愛知県安城市
- 設立 / 1942年3月
- 資本金 / 34億7千5百万円
- 売上高 / 152億円(2011年度)
- 上場取引所 / 東証・名証2部  
(証券コード:6271)

● 主な製品



〈減速機〉

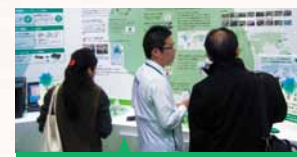
〈歯車〉

## ブラザーの 環境活動

ブラザーグループでは、持続的発展が可能な社会の構築に向け、世界各地でさまざまな活動に取り組んでいます。その中で今回は日本での活動をご紹介します。

ブラザー工業とブラザー販売は、2012年12月13日～15日の3日間、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」に共同で出展しました。ブラザーは2001年から毎年出展し、今回で12回目の参加となります。

ブラザーブースでは、グループの環境活動を象徴するスローガン「Brother Earth」のもと、ブラザー製品における環境配慮の状況や、インク・トナーカートリッジの回収・リサイクル、グローバルな環境社会貢献活動などについて分かりやすくご紹介しました。ブースを見ながらクイズに回答する「ブラザー・エコツアークイズラリー」に参加された来場者数は、3日間で



環境への取り組みをご説明しました

約4,600名に上り、社会人や学生、家族連れの方など、幅広くブラザーグループの環境への取り組みをお伝えすることができました。